

# 「一粒萬倍」見どころ紹介

来年1月 愛媛公演 演出家・松浦さん県庁訪問



総合芸術舞台「古事記・一粒萬倍 A SEED」の見どころを紹介する演出家の松浦靖さん(中央)＝21日午後、県庁

伝統芸能やライブ演奏を融合した総合芸術舞台「古事記・一粒萬倍 A SEED」の2024年愛媛公演を控え、宇和島市出身の演出家松浦靖さんから関係者が21

日、県庁を訪問した。県内のダンサーや演奏家などがつくり上げ、言葉や文化の違いを超えて誰もが楽しめる「メード・イン・愛媛」の舞台の見どころを紹介した。

来年1月20日、松山市道後町2丁目の県民文化会館で昼夜2回公演。松浦さんが古事記をモチーフに脚本と演出を手がけ、神話における愛媛の成り立ちや「いただきます」に込められた食への感謝を物語に仕立てている。

昨年のおひめ南予ぎすな博ではシンボリックイベントの一つとして上演。来年の舞

台には県内在住・出身のダンサー33人、バイオリンや和太鼓などの演奏家12人も出演する。衣装はプロの指導のもと、松山市内の専門学校生が制作。生の舞台に触れてもらおうと、18歳以下の子ども無料席も1400席用意した。

中村時広知事は「東中南予全域を巻き込んだ舞台になるよう応援している」と期待を込めた。松浦さんは「きずな博より5倍くらいスケールアップした。子どもたちが愛媛を誇りに思えるようなコンテンツにしたい」と呼びかけた。(尾上芽吹)

見出し：「一粒萬倍」見どころ紹介 2023年9月22日付愛媛新聞

(掲載許可番号：d20231002-02)